

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 6年3月15日

事業所名 運動療育のかがやき 職員4名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	50%	50%	運動時、チームごとを実施するなどして活動場所を広く使っています。	活動中の危険箇所(床、ドアノブ等)の確認を随時行い、怪我に繋がる恐れがある場合には保護を行ってまいります。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	送迎スタッフ、添乗スタッフが抜けてしまうと一定時間ではありますが、コーチが手薄になってしまう時間がある為、添乗スタッフの入れ替え等工夫して適切な職員配置にしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	トイレには少し段差があるため、お子様に怪我がないようにスタッフが見守りを行い、手洗い場には高さがあるため補助椅子を使用しております。お子様の成長に合わせた情報伝達を行うために必要な視覚支援物の用意を行います。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	事業所内で会議を行い、業務週報を活用し週に1度目標設定・振り返りを各スタッフがこなっています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	半年に1回のモニタリング面談などの時間で、事業所に対するご意見をいただくことをしています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	運営に携わっている職員が外部の方と面談を行い、外部評価を行っております。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に1度の全体会議の中で社員による研修や外部の方に来ていただいて研修を行っております。	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者様との面談を通して保護者様とお子様のニーズに沿った支援計画が作成できるようになっている。	契約時に標準化されたアセスメント用紙をお渡ししそれを基に支援計画を作成、半年に1度支援計画の見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成ができております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	契約時に加えて簡単な聞き取りを行なっている。	標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	週に1度職員同士で週間スケジュールを作成しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	講師を招いた研修を行い、支援員の専門知識へと繋げ、プログラムに取り入れている。	今後も新しい運動プログラムの立案に特化したスタッフを中心に既存の運動資料を基にしながら、新しい運動プログラムを取り入れることで活動プログラムが固定化しないように努めてまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	75%	25%	楽しんで来所していただけるよう長期休みを利用して水遊びなど、さまざまな活動を実施しております。	

の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	契約時に標準化されたアセスメント用紙をお渡ししそれを基に、支援計画を作成、半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成ができております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼でその日来所されるお子様、注意事項の確認を行なっております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	送迎の関係で全スタッフが集まる時間の確保が難しいため、スタッフの共通ツールに共有、話し合いが必要な場合には後日話し合いの場の確保に努めております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日お子様ごとの支援計画に沿って記録を残し、必要に応じてヒヤリハットの作成、改善に繋げております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に1度モニタリングを保護者に確認・面談を経て放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性の判断を行なっております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	ガイドラインに記載されている内容に沿ってお子様一人一人のニーズに合わせた目標・支援内容の設定ができております。
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	サービス担当者会議が開催されている際は、最も相応しい者が参画しています。相談支援事業所ともより密に連携を図って期待とします。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時、お子様の情報共有をさせていただいております。また、送迎の際の遅れ等ございましたら必ずご連絡させていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%	現状、医療的ケアが必要なお子様・重症心身障がいのあるお子様等がいないため、必要であれば連携体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	保護者様の意向に沿って情報共有・相互理解をさせていただきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%	現在該当するお子様がいらっしゃいませんので障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合には保護者様の意向に沿って支援内容等の情報提供を行なってまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	今後、さまざまな関係機関との連携をより一層深め助言・研修を受けてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	障がいの有無やサッカースキルに関わらず誰もが一緒に楽しめる[ユニファイドサッカー大会]や「笑顔かがやき未来きらめく」をスローガンに掲げ、老若男女、障がいの有無問わず誰もが自由に最大限の力を発揮できる場[みんなの運動会]を開催いたしました。今後も障がいの有無に関わらず誰もが一緒に楽しめるイベントを行ってまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%	区の事業所が集まりケース会議や様々な情報を共有している会議に出席しています。今後も機会があれば積極的に参加し日々の運営に活用させていただきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に情報共有を必ずさせていただいております。保護者様に直接お伝えするのが難しい場合でもお帳面での日のご様子をお伝えさせていただいております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	三ヶ月に1度、ママキラ会を行なっております。また、導入等を工夫し家族支援プログラムの支援を行ってまいります。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	ご契約時に重要事項説明書に沿って運営規定、利用者負担などについての説明をさせていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	LINEやお電話においても保護者様からの相談事に対して助言・支援を行っています。 送迎時に限られたお時間ではありますが、保護者様とお話しさせていただいております。支援計画の見直しとは別に、直接事業所にきていただき必要な助言・支援をさせていただくことが可能です。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	多くの保護者様にママキラ会に参加しおいただけるように声掛けや保護者様の声を運営に反映させることを行っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	お子様・保護者様への周知ができていない状況にありますので、かがやきだよりやホームページ等掲載場所を検討してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1度かがやき便りを配布させていただいており、行事予定等の連絡はLINEを活用し発信させていただいております。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報に関するものは鍵付きの書庫で保管しております。信頼を失わぬよう施錠の徹底を継続してまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	保護者様との意思の疎通・情報伝達に関しましては、直接的なコミュニケーションだけでなくお電話やLINE等複数の手段を提供しております。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	昨年は、地域の方々を招きお餅つきを実施いたしました。今後も、地域の方々に参加していただける行事を企画してまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	職員間で感染症、防災等の研修の実施を行っております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年2回利用者様も含めた防災訓練を年間スケジュールにて予定しております。自信を想定し実際に避難経路の確認や、火事の際の対応や消化器の使い方などを訓練を通じて確認しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定例で虐待防止委員会を行っております。スタッフ間で話し合い虐待防止への理解を深めております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束の必要なお子様は現在いらっしゃいませんので、必要に応じて対応してまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのあるお子様は事前に確認し、おやつ・クッキングの際には必要に応じて再度保護者様に確認させていただいております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	終礼の中でヒヤリハットを確認しております。ヒヤリハット作成後、事業所内だけでなく他事業所にも共有させていただいております。